くすりのつぶのめるヒミツをさがせ！



グラフ1

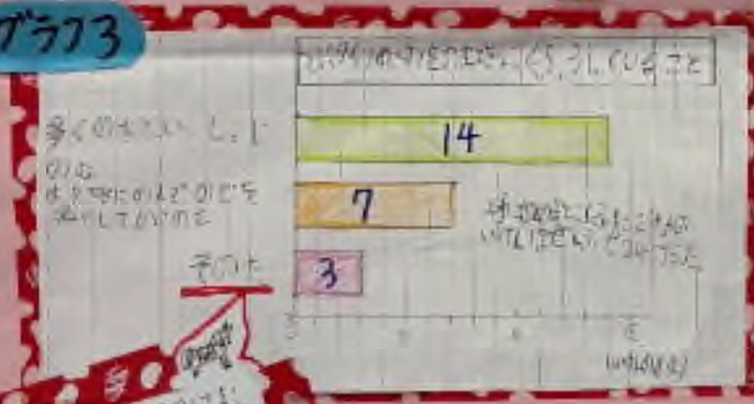




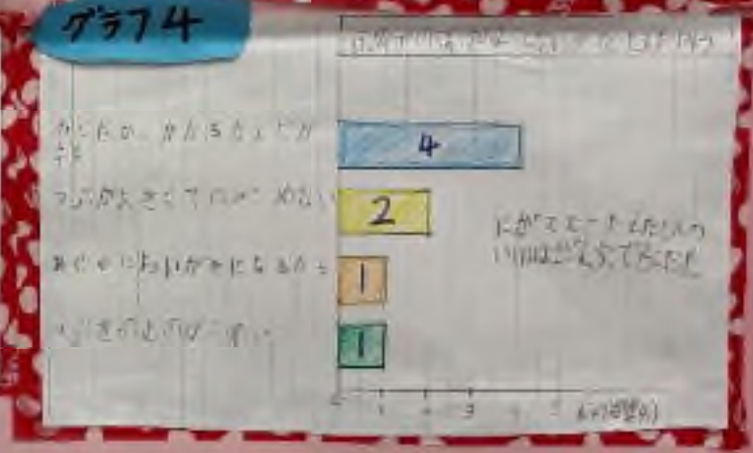
グラフ2



グラフ3



グラフ4



わかったこと①

小学生や中学生はだいたいが上手にのめていました。おとな(20代～40代)は半分くらいが上手にのめるとこたえましたが、残りは、「にがて・時間がかかる」とこたえました。おとなになっても、みんなが「つぶタイプのくすりがとくいじゃない」とわかりました。おとな(40代～60代)は、半分以上の人が「にがて・時間がかかる」とこたえた年代なので、つぶタイプのくすりをのむのが「にがて」になるのかもしれません。

わかったこと②

上手にのめる人のはなしていたいちばん多かったのは「口の中に水をためてから、のむ」ことでした。

わかったこと③

上手にのめる人のはおうぎょうかぜなどのときに人がしていることは「多くの水といっしょにのむ」ことでした。2ばん目に多かったのは「水を口にふくんでのどをぬらしてから、のむ」ことでした。

わかったこと④

にがてとこたえた人の中でお分かりでしょうが、のどにひっかかるなどにかんじることにこたえていました。2ばん目に多かったりゆうは、「水が入きてでてみこめないでした。

かんそう

わたしは、つぶタイプのくすりをのむのがにがてです。周りのようにとくいになりたいと思いました。それまでは上手な人のくちをまねして、少し上をむいて多くの水といっしょにのむようにしようと思いました。